

## 平成 28 年度第 2 回

### 東御市地球温暖化対策地域推進協議会議事要旨

H29. 3. 2 (木) 13 : 30 ~ 15 : 40

別館 4 階第 1 会議室

#### 【出席者】

(委員：敬称略)

高橋 大輔、依田 達哉、金井 芳彦、中沢 豊彦、宮崎 徹哉、内津 喜明、小野 賢一、佐藤 千枝、森 まり子、郷原 辰実、新田 詔三、中澤 亥三、森 勝

[欠席：宮原 則子]

(説明者：敬称略)

矢島 史生 (中部電力株)

(事務局)

塚田生活環境課長、柳澤課長補佐兼環境対策係長、田原環境対策係主任

#### 【配布資料】

- ・ 東御市地球温暖化対策地域推進協議会会議次第
- ・ 東御市地球温暖化対策地域推進協議会設置要綱
- ・ 東御市地球温暖化対策地域推進協議会委員名簿
- ・ 地球温暖化対策に関するワークショップ資料  
「温暖化対策地域推進協議会の委員、又は協議会として何ができるか」

## 【議 事】

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 会議事項

#### (1) 地球温暖化対策を取巻く状況について

- ・ 国等の動向について

- ・ 電力の最近の状況について

#### (2) 意見交換

- ・ デジタル地球儀「触れる地球」DVD について

- ・ 自由意見交換

#### (3) 地球温暖化対策に関するワークショップ（ファシリテーション）

「東御市地球温暖化対策地域推進協議会の委員、又は協議会として何ができるか」

### 4 その他

### 5 閉 会

## 【会議内容】

### 3 会議事項

#### (1) 地球温暖化対策を取巻く状況について

- ・国等の動向について

#### 事務局田原

昨年11月にパリ協定が発効しました。このパリ協定に先立ち、日本が提出した約束草案の目標として、2030年度（平成42年）までに、温室効果ガスを2013年度（平成25年度）比で26%削減を掲げています。

この目標達成に向けて、地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、国の地球温暖化対策計画が策定されました。法改正の概要としては、国民運動の強化として、温室効果ガスの排出削減に関する普及啓発などが地球温暖化対策計画に記載されること、地方自治体による地域レベルの地球温暖化対策の推進として、地方公共団体の温暖化対策実行計画を複数の地方公共団体が共同で策定できるようになり、広域的な取組みが可能になったこと、その計画の記載事項として「都市機能の集約」「低炭素な日常生活用製品等の利用促進」が明記されたことなどです。

この法改正や地球温暖化対策計画の策定を受け、地方公共団体の計画の策定マニュアルが今年度中に示される予定になっております。

現在の市の計画の中期目標は、温室効果ガスを2020年度（平成30年度）までに2005年度（平成17年度）比30%削減としており、国の目標が2030年度（平成42年度）までに25.4%削減ですので、国の目標より高い目標となっておりますが、そのマニュアルが示されたところで、さきほどの法改正の内容も踏まえて新たな施策など総合的な市の計画の見直しの必要性について検討していく予定ですのでよろしく願いいたします。事務局からは以上です。

#### 高橋会長

皆さんから情報等ありましたら、よろしく願いいたします。

#### 中澤委員

環境省のエコアクション21という活動があり、私と新田さんはその審査員をやっていますが、前は紙ごみ電気のような無駄な電気は消そうというようなことをチェックする方針だったものが、これからは本業について、例えば食品関係だと原料の利用率を高くすると廃棄物が当然減り、単位製品あたりの電気使用量が減るので対策になるということで、無駄の排除だけでなく積極的に本業の方まで手を入れて削減につなげようという方針に変わってきています。

高橋会長

これまではどちらかというと、例えば企業のコスト削減に絡んだものだったのがもう一歩踏み込んださらに大きな変化が求められてきていることですか。

中澤委員

個人の家で言えば、例えば余計な電気を消そうということを今まで言っていましたが、それを昼間は電気を点けなくていいようにするとか、生活のパターンを見直して削減するというような考えに変わってきています。

高橋会長

ライフスタイル自体を変えていこうということですね。

新田委員

ISOでもエコアクションでもそうですが、本質的に転換していかなければいけないということです。ISOも品質と環境の共通部分が一部一緒になりました。要するに今までISOにしても、トップ、社長がISOをよく理解しておらず、現場に任せるということがほとんどで、それがISOの衰退している原因ということで、トップが本質を理解して、パフォーマンスを数値的にも経営的にも良くする方向に変わってきています。エコアクションも同じ状態です。

高橋会長

国から出されている削減目標に対応するには、それくらい大きく変えていかないと対応できないということですね。

・電力の最近の状況について

高橋会長

つづきまして、電力の最近の状況について、中部電力の中沢委員からお願いいたします。

中沢委員

中部電力上田営業所の中沢と申します。少しお時間をいただきまして、担当の矢島からお話しをさせていただきますが、電力の自由化が今年の4月から始まり、1年が経つという中で、これから皆さんの暮らしの中でなにかしらヒントになるような部分を吸収していただければと思います。

矢島氏

中部電力長野支店お客様営業グループの矢島と申します。本日は短い時間ではあります

がお付き合いいただければと思いますのでよろしく願いいたします。

皆様のお手元に資料を用意させていただきましたが、最近の電力の状況についても資料にはないことですが、口頭でお話しさせていただければと思います。ご承知のとおり、平成 28 年の 4 月から電力自由化ということで、いわゆる地元の電力会社以外の会社から電力を買えるような時代がやってまいりました。現時点に引きまして全国の販売電力量の 8.2% が地元の電力会社以外、いわゆる新電力とわれるところから購入されている状況です。そのうち一般家庭に値する 100V、200V でお送りしている低圧という分野に限って言いますと全体の 3% 程といった状況になっています。そういった状況をうけまして、中部電力としましても昨年 4 月から新しい電気料金のメニューなどいろいろなサービス展開してきています。そのあたりを若干ご説明させていただければと思ひまして、資料をお持ちしたところでございます。

でんきの安心百科の 10 ページですが、電気を計るメーターを高性能なものに順次変えてきております。スマートメーターは 30 分ごとのご使用量を計測する機能や通信機能を備えた新しい電気メーターです。平成 35 年の 3 月までには全ご家庭のメーターを取替えさせていただく予定です。メーターにも計量法に基づいた期限があり、その期限の短いものから順次交換してきているため、ご要望に応じた対応が難しいところがありますが、5、6 年の間には皆さんのご自宅のメーターも変えさせていただけると思ひます。今の進捗状況としては、だいたい 3 割くらいはスマートメーターに変更させていただいています。

実際こういった高性能なメーターに取り替えて何ができるかと言うところになりますが、カテエネのチラシをご覧ください。カテエネは、インターネット環境の整ったお客様を対象にしたサービスですが、ホームページのカテエネに登録していただくと日々の電気使用量や、場合によっては時間単位でのご使用量をパソコン上で確認できるというサービスがございます。そのほかにも省エネや電気の賢い使い方などのコラムなどを掲載していますので、そういったものを読んでいただくとポイントが付き、そのポイントを電気量料に還元していただいたり、ポイント交換サービスなどをしたりしています。

なかなか高齢でインターネットパソコンを持っていないお客様もいらっしゃるという状況では、スマートメーターに変更になっている家庭限定になってしまいますが、検針票がグラフをつけたものになってきております。こちらを見ていただければ、インターネット環境の無いお客様も日々の使用量の状況や時間単位の使用慮を確認できるようになっております。合わせて、グラフ検針票をお送りする際に、カテエネレポートを毎月発行しており、省エネに関する情報などを提供させていただいております。できればカテエネに加入していただいて、インターネットで見ていただくと、検針票の省略もできるようになっております。そうすると電気後使用量のお知らせは届かなくなってしまいますが、カテエネにご加入いただければいつでもパソコン上で使用状況が確認できますので、加入されていない方は是非ご加入いただければと思います。カテエネのほうは旧メーターでも利用いただけますし、電気の使用の変化もご確認いただけます。ただ、時間ごとの計測はしてい

ないので、月ごとのグラフでしかないのですが、過去 3 年くらい遡って使用量、電気料金が掲載されていますので、そういったところをベースに省エネに役立つような形をご利用いただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

また、今日長野都市ガスさんお見えになっておりますが、来年の 4 月に今度はガスが自由化されるということで、電力会社も 4 月からガスを売るようになります。まだ愛知県の東邦ガスさんが供給するエリア限定ですが、中部電力としてもガス売っていくという時代になってまいりました。ですから、電力会社というよりは、ガス含めたエネルギー会社として 4 月以降展開していく形になりますので、引き続き皆様には中部電力の電気をご使用いただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

中澤委員

電気は 1 kW あり 0.4 k g くらい炭酸ガスを出す計算になっているのですが、そのところを 20%削減してくれると他の人は何もしなくてもいいのですが、1 kW あたりの炭酸ガス発生量を削減するような技術開発のようなことはやっていますか。

矢島氏

具体的には今現在これというものは出ておりません。福島原子力発電所の事故以降原子力発電所が停まっていますけれども、もともとエネルギーの中で原子力の比率をもう少し上げていこうという時代が当時ありまして、それに伴って温暖化対策にもという流れがあった中で、事故以降なかなか原子力発電所が稼働しておらず、その代わりに火力発電所を焚き増ししているという状況を受けまして、若干温暖化対策には逆行しているような状況ではございます。

新田委員

スマートメーターが今 3 割と言うことですが、どういう順番で付けているのですか。どういう形で、例えば希望すればつくのか。そこらへんをご説明いただければと思います。

矢島氏

なかなか件数も多い中で、ご希望に沿いながらの交換と言うのは行っておりません。メーターにも期限があり、その期限の到達が早い順番で、例えば来年期限をむかえるメーターがあればそういったメーターを優先に古いメーターから新しいメーターに変えるという形で順次計画的に交換させていただいております。

新田委員

費用はかからないんですか。

矢島氏

そうですね、費用は一切かかりません。

新田委員

スマートメーターを付けることによるメリットはどこにありますか。

矢島氏

一番はカテエネに登録いただければインターネットで見られますし、ご加入いただかなくてもグラフ検針票と言うような形で使用状況が今までよりも見える化ができるといった部分で、先程のお話にあったように場合によってはライフスタイルを見直す一つの資料にはなっていくのではないかと思います。

新田委員

双方向でやると言うのは、例えば空調機を Wi-Fi で接続して双方向で電気量を調整するというのはかなり先になるのでしょうか。

矢島氏

そういった機器を付けていただければ現在もできなくはないです。スマート化によって機器を付けてもらえば、場合によってはテレビ画面でインターネットを介さずに確認ができたり、スマートフォンの機能などを使って遠隔でできたりするようになっていきます。スマートメーターから中部電力の会社用に通信の電波が出ているように、逆方向に電波を出すことも可能なので、受信できる機器を付けていただければそういったことも可能になってきています。

## (2) 意見交換

・デジタル地球儀「触れる地球」DVD について

高橋会長

次に、意見交換に移ります。意見交換の1つ目ですが、前回の会議でデジタル地球儀「触れる地球」についての話が出たかと思います。私も伺ってから番組を見て、非常に面白いなと思ったのですが、今日新田委員にその DVD をお持ちいただいているので、それを皆さんで見させていただいて、その活用に関する意見交換を行いたいと思います。

新田委員

竹村真一さんと言う方は、京都造形芸術大学教授で地球規模の新たな人間学を提起し、IT を駆使した地球環境問題への独自の取組みを進めており、いろんところで講演を行っています。今回は松本で子供を対象にして行ったものを見ていただきたいと思います。借

りて使いたい方がいましたらお貸ししたいと思います。これは子供向けに行ったもので、子供が高い見地から物事を見て判断する力をつけるのに非常に役に立つと思います。

(デジタル地球儀「触れる地球」DVDについて)

松本市で行われたデジタル地球儀の発案者である竹村真一氏の講演会のDVDを鑑賞

高橋会長

ありがとうございました。見てみると、是非こういった技術で子供に伝えられるといいなと思いました。このシステム自体は、県から借りられるんですか。

新田委員

県から借りられます。

高橋会長

おいくらくらいかかるんでしょうか。

新田委員

借りただけでだいたい7万円くらいです。ちょっと詳細は分かりませんが、長野県の地球温暖化防止活動支援センターが買っています。

中澤委員

これを4台くらい買って、東信や南信などで1個ずつおいて、という話をしたが、1個が300万円するということで、無理だそうです。

森勝委員

今の映像を見て感じたのですが、私は一昨日石垣から戻ってきたのですが、30年ほど前に石垣の川平と言うところがあるのですが、それから竹富島のサンゴ礁を見ていた時期がありまして、この間見たサンゴ礁は約9割以上が死滅していて、白化現象が起きています。海の温度が非常に上がって、22度以上になると産後が死滅すると言われていまして、逆に去年は台風が非常に少なかったそうで、台風が来ることにより海の温度が下がりサンゴが生きられてきたということなのですが、去年はほとんど無くて海水の温度が上がってしまい、サンゴが9割死滅してしまったということで、いま残ったサンゴを研究者研究して、また海に戻して生かそうという動きがありますが、要は一番の原点ではもうだめなんですね。それを見てきました。海の中では、すごいことが始まっています。



高橋会長

ありがとうございます。まさに今映像で紹介されていた津波や台風が海をかき混ぜることで栄養分が拡散したり水温が下げられたりといった、まさにその事例だと思います。そういったものもサンゴの白化現象も情報としてはメディアでも取り上げられますが、その原因までは軽く触れる程度で、イメージがしにくい。こういう触れる地球を使うとそのあたりが理解しやすくなるのかなと思います。

新田委員に伺いたいのですが、先程非常に高額なものと言うことでしたが、インターネット環境でこのデータを自分のタブレットで見たりすることは可能ですか。

新田委員

先日の県の温暖化防止活動推進員の研修でもそういった質問が出ていましたが、簡単にはいかないようです。

高橋会長

理屈的にはタッチセンサーが付いていれば、あそこまでリアルな 3 次元的には見られないものの、動かしながら見ると言うのは可能なのかなと思います。そうなる学校でも、今タブレットが導入され始めているので、活用できればいいと思うのですが。

新田委員

また聞いてみます。

佐藤委員

前回の会議に欠席してしまい、触れる地球について初めて拝見したのですが、学校など子供たちも、日本国内の事だけでなく、世界の国のことも大切になってきている時代の中で、実際にデジタルで触れるということで他の国の事を近く感じられると思います。長野県含め日本は島国で自然環境がいろんな影響で変化していくということを間近で体感できる機会ではあると思ったのですが、もう少し普及できるかたちであればと思います。

高橋会長

このシステム自体は面白いんですが、まだまだ気軽に使うと言うのにはまだ時間がかかりそうということですね

新田委員

一番大事なのは人間と言うのは運命共同体ということです。トランプ大統領に見せてあげて説明してあげたいくらいです。アメリカだけが良くなっていく社会をつくらうとしても無理です。地球自体にいろんな問題が起きているので、そういう社会を我々がどうやっ

て変えていくかということです。子供に地球的な規模で物事を見ることが大事で、先程の環境マネジメントの話で、我々エコアクションの審査人をしていて、一番上のトップが何を大事にするか、企業に審査に行くと何が大事かというところ、CO2 減らすだけでなく人間力だと言うんです。あなた自身が磨かれて、勇気付けて企業を発展させて希望あるものにする、そういうコンサルができるような人間力を求めているんです。ただ、ISO をとったとか、エコアクションとったとかそういう小さいレベルじゃなくて、審査に行っても、その企業にとって本当にプラスになっているマネジメントシステムを作っていないといけません。地球的な規模で物事を考えられる人間育成が子供に一番必要じゃないかと思います。

高橋会長

ありがとうございました。どうしても私たちは、近い将来とか近い距離の人やものに目が行きがちなんですが、このデジタル地球儀だけではないですが、いろんなつながりを見ると、少し長い目で見れば結局環境に配慮することが、企業にも私たちの暮らしにもプラスの利益をもたらすと言う考え方になるのかなと思います。

・自由意見交換

高橋会長

それでは、ここまでの内容に関する事、それに関わらず何かあればお願いします。

中澤委員

地球温暖化を防ごうと言うと電気を消そうとかになりますが、地酒を飲んで地球温暖化対策に貢献しようと言うのがあります。地酒を飲もうというのは信州の地酒普及促進・乾杯条例があるのでご存じだと思いますが、これは地球温暖化の事は何も言っていないですが、実際に地酒を飲むとすると、お酒ですから必ず稲をつくります。稲を作ると当然、森林と同じように、葉緑素が炭素を固定するので、稲わらもみんな炭素になり、その稲わらは切って畑にすき込めば、すぐ炭酸ガスになるわけではありません。ですから、地酒を飲むことで炭素の固定ができるということと、例えばウィスキーを飲んだりするとイギリスやどこかから持ってくるのに炭素をたくさん出すのを防ぎますし、地域としては米を作る棚田を利用できるとか、お酒が売れば人を雇用するなど地域に貢献します。それから当然ワインなどと比べると国際競争力がありますので、飲むならば地酒をと言うのが私の意見です。ちなみに稲わらがどれだけ炭素を固定できるかと言うデータはありません。農水省でもこんなことをやっている人はいませんが、地域にとっていいし、地球にとっていいことは間違いないので是非飲むなら地酒を飲んでください。

高橋会長

ありがとうございます。いわゆる地産地消の考え方ですね。

佐藤委員

ワインは地酒には入らないんですか。

中澤委員

県のものづくり振興課では日本酒ワイン振興室という名前になっていますのでこの辺で造ったワインも地酒だと思います。

森まり子委員

地元で取れた者を地元で消費しましょうと言うことですね。

高橋会長

長野大学でも地産地消論という授業があります。信州は豊かな場所なので、日本全国で地産地消は難しいかもしれないが、長野に関してはかなり地域産で対応できるのかなと思います。

森まり子委員

長野県の 30・10 運動ご存知ですか。宴会で最初の 30 分は自分の席で料理を食べて、中締めの後、最後の 10 分もしっかり料理を残さず食べようと言うキャンペーンをやっていたので、自分でポスターを作って公民館に張ったところ、区民にとっても好評でした。暮れからいろんな会議があり、そのたびに宴会をやるので、飲む前にポスターを読んでもらい、説明をして宴会を始めるんですが、非常に効果的です。先程課長から話のあった生ごみの堆肥化施設もできるということですが、食べ物を残さないと言うことが身近に自分たちのできることだと思います。先程の地酒もそうですが、宴会で誰かが勇気を出して、30・10 をやろうと言うことが非常に大事だと思います。私の区では定着し、ほんとに良かったと思います。

高橋会長

ぜひ、皆さんも 30・10 運動をしていただいて、次回の会議で皆さんにお伺いしますので、よろしくをお願いします。

### (3) 地球温暖化対策に関するワークショップ（ファシリテーション）

別紙 「第 2 回東御市地球温暖化対策地域推進協議会 ワークショップ（ファシリテーション）結果」 参照

#### 4 その他

##### 森 勝 委員

大田区の休養村で10年ほど前から大田区の小学校6年生が70数校全校来ています。その中で森林整備体験をやっていまして、最初は、5、6人だったんですが、だんだん多くなり数十人単位で年間千人や二千人くらいの子供たちが、森の中で環境の話や森の役割、自然の話をしながら森に木を植える、切ることの体験をしたり、遊歩道を作ったりという体験をしているので、ぜひ学校関連、小学校にも呼びかけていただきたい。その中でいろんな子供たちの意見を聞くと、僕は大きくなったら環境の仕事をしたい、自然の関係の仕事をしたいという人が増えてきています。ひとつひとつ体験をしていくとそう方向にいけると思いますので、ぜひよろしく願いいたします。